

2013年 日本学術会議シンポジウム

新たな統治機構改革

―道州制をめぐる―

主催 日本学術会議政治学委員会、同行政学・地方自治分科会、
中央大学経済研究所（第25回中央大学学術シンポジウム）

日時 平成25年11月23日（土） 13：30～16：45（開場 13：00）

場所 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口）

定員 300名（申し込み順）

申込先 メール：keizaiken@tamajs.chuo-u.ac.jp

FAX：042-674-3278

司会 川井綾子（フリーキャスター）

13：30～13：35 開会挨拶

猪口邦子(日本学術会議会員・政治学委員長、参議院議員)

《第Ⅰ部・講演》

13：35～14：05（30分）

基調講演Ⅰ「道州制と大都市のあり方」

佐々木信夫（日本学術会議会員、中央大学教授）

14：05～14：35（30分）

基調講演Ⅱ「道州制と日本経済の今後」

土居 文朗（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学教授）

14：35～15：15（40分）

特別講演「東日本大震災と道州制」

村井 嘉浩（道州制首長連合代表、宮城県知事）

（休憩）

《第Ⅱ部・パネルディスカッション》

15：25～16：45（80分）「新たな統治機構改革―道州制のゆくえ」

パネリスト 青山 彰久（読売新聞編集委員）

村井 嘉浩（前掲）

土居 文朗（前掲）

佐々木信夫（前掲）

コーディネータ 大杉 寛（日本学術会議連携会員、首都大学東京教授）

―開催趣旨―

いま、日本では、これまでの三層制統治機構を見直し、「道州制」移行を視野にいたした大改革に挑む政治の流れが出てきている。今後、「道州制基本法」「道州制国民会議」を中心に来年以降、道州制をめぐる国民的論議が本格化するものと思われる。そこで、学術的見地、とりわけ政治学、行政学、経済学などからこの「道州制」をどうみるか、都道府県はもとより、大都市、小規模町村、さらに省庁体制のあり方まで含め広く議論してみたい。多くの方々のご参加を希望します。

開催場所



申し込み方法

中央大学経済研究所にメールもしくはF A Xで、ご所属、ご氏名を記入の上お申し込みください。
なお、メール、F A Xを送信される場合に、「第25回中央大学学術シンポジウム参加申込」と明記ください。

問い合わせ先

日本学術会議 事務局（島津）（03-3403-5706）
中央大学 経済研究所（伊原）（042-674-3271）

申込書

氏名	所属	電話	Eメールアドレス

開催場所

開催場所については、日本学術会議のホームページをご参照ください。

日本学術会議ホームページ：<http://www.scj.go.jp>

開催場所：<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>